

1. 検査当日は予約時間の**20分前**に1階 患者支援センター受付にお越し下さい（**予約時間を守ってください**）。**問診票をご記入のうえ**、主治医から預かった書類、血液検査結果や画像CDなど併せてお持ちください。
2. 検査前日および当日は激しい運動をしないようにしてください（重い物も持たないでください）。
3. 検査前**6時間は絶食して下さい**（午前中検査では朝絶食、午後からの検査では昼絶食）。糖分を含まない水分（水、緑茶）のみ大丈夫です。糖分を含んだジュース等は飲まないでください。
4. **検査前日の下剤使用、検査当日の糖尿病の血糖降下薬やインスリン注射は原則として中止していただきます。**なお上記とシロップ、ゼリー以外のお薬は、内服していただいて大丈夫です。
5. 糖尿病の方は、検査当日の血糖値が150mg/dl以上の場合正確な検査ができないことがあります。特に空腹時血糖が200mg/dl以上の場合には中止とさせていただきます。
6. 本検査は、原則としてトイレに行く、検査台に上がるなど患者さん自身で行っていただきますので、**車椅子など日常生活において介助を必要とされる患者さんは、検査の間、家族の方などなたかの付き添いをお願いします。**また付き添いの方もごく少量ですが、被曝を受けます（胸部X線撮影の数回分程度）。付き添いのできない場合は、安全に検査ができないため、検査をお断りすることがあります。**ストレッチャーなど重傷患者さんは検査できません。**
7. 検査中は仰向きに寝て動かないでいることが必要です。30分位仰向け寝てられない場合はあらかじめ申し込まれた医師とご相談下さい。
8. 検査に使用する放射性医薬品（FDG）そのものの副作用は非常に低いです。FDGは放射線を出しますが、その被曝は胃透視1回分程度（約4mSv）です。CTも同時に撮影しますのでPET検査にCT検査の被曝（約4mSv）も加わります。被曝による健康への問題はありませぬ。ただし被曝量は低くても、妊産婦の方の検査はできません。
9. 病巣の種類や大きさ（1cm未満など）によっては見つかりにくく、正しく診断できない場合があります。
10. 検査終了後約12時間は乳幼児・妊産婦との接触をできるだけお控え下さい。
11. **予約の取消しについて**  
検査に使用する放射性医薬品（FDG）は当院で作っておらず、製薬メーカーの工場がある岡山（もしくは神戸）から患者さん毎に調製され配達してもらっています（1日3回配達）。また、この薬剤は短時間で消滅し非常に寿命が短いため、薬剤到着後（遅くても）2時間以内に使用しなければ効果がありません。なお、**PET-CTのみの検査費用は3割負担の方で約3万円のお支払い額**となります。  
**そのため、来院できない場合や検査に遅れる場合は、高価な薬剤の準備の都合上できるだけ早く下記まで連絡して下さい。**

＜連絡先＞ 徳島県立中央病院 核医学検査部門  
088-631-7151（内線2281）

1. **検査依頼医より患者さんに、別紙資料を用いて検査の説明をお願いいたします。**  
検査申し込み時には別紙、PET-CT検査説明書兼同意書に、**依頼医（検査説明医）と患者さんの署名**をお願いいたします。原則として外来患者さんを対象とします。
2. **検査前6時間の絶食が必要です**（午前中検査では朝絶食、午後からの検査では昼絶食）。  
糖分を含まない水分（水、緑茶）のみ飲水可とします。末梢、中心静脈栄養についても、検査の6時間前までに糖のっていない輸液に変更してください。
3. 糖尿病の方は、**検査当日の血糖値が150mg/dl以上**の場合正確な検査ができないことがあります。特に空腹時血糖が200mg/dl以上の場合は本検査は勧められず、中止とさせていただきます。血糖のコントロールをお願いいたします。
4. **検査前日の下剤使用、検査当日の糖尿病の血糖降下薬やインスリン注射は原則として中止していただきます。**なお上記とシロップ、ゼリー以外のお薬は、内服していただいて大丈夫です。
5. 本検査は、原則としてトイレに行く、検査台に上がるなど患者さん自身で行っていただきます。**車椅子など日常生活において介助を必要とされる患者さんは、検査の間、家族の方などどなたかの付き添いをお願いしています。**付き添いの方もごく少量ですが、被曝を受けます（胸部X線撮影の数回分程度）。付き添いの方へのインフォームド・コンセントも併せてお願いいたします。付き添いのできない場合は、安全に検査ができないため、検査をお断りすることがあります。なお**看護師の頻回のケアが必要な患者さんなど、重傷患者さん（ストレッチャーを含む）への検査はできません。**
6. **厳密な保険適応があります**ので、検査担当医がPET-CT適応外と判断した場合は、こちらから連絡いたします。検診や自由診療については当院では行っておりません。
7. **PET-CT検査日には他の受診や検査などの予約を入れないでください。**
8. PET-CTは通常頭頂から股関節までの撮像となります。ヨード造影剤は使用しません。
9. 透析患者さんは透析日以外でPET-CT検査をご依頼ください（検査は可能です）。
10. 胃透視、注腸検査などバリウムを用いた検査については、バリウムが排泄される1週間程度の期間において、PET-CT検査をご依頼ください。
11. 検査に使用する放射性医薬品（FDG）はブドウ糖に似た薬であり、副作用は非常に低いです。FDGは放射線を出しますが、その被曝は胃透視1回分程度（約4mSv）です。CTも同時に撮影しますのでPET検査にCT検査の被曝（約4mSv）も加わります。被曝による健康への問題はありませぬ。ただし被曝量は低くても、妊産婦の方の検査はできません。
12. **予約の取消しについて**  
検査に使用する放射性医薬品（FDG）は当院で作っておらず、製薬メーカーの工場がある岡山（もしくは神戸）から患者さん毎に調製され配達してもらっています（1日3回配達）。また、この薬剤は短時間で消滅し非常に寿命が短いため、薬剤到着後（遅くても）2時間以内に使用しなければ効果がありません。**検査時間を守ってください。**なお、**PET-CTのみの検査費用は3割負担の方で約3万円のお支払い額**となります。そのため、**来院できない場合や検査に遅れる場合は、高価な薬剤の準備の都合上できるだけ早く下記まで連絡して下さい。**

＜連絡先＞ 徳島県立中央病院 核医学検査部門  
088-631-7151（内線2281）

以上、ご協力よろしくおねがいたします。

[20200401]